

こうすればよい花が咲く肥料の使い方

三本立て 盆養の例

	サンシ	小鉢 3.5~4号鉢	中鉢 5~6号鉢	定植 9号鉢	花芽分化	着蕾・開花期	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
土	さし芽用土	育苗用土	定植用土	定植用土	増し土用	増し土用	増し土用
乾燥肥料		菊養源3-7-6 乾燥肥料4-8-3  又は  鉢上げ7~10日後に 3.5~4号鉢=小さじ1杯(3~5g) 5号鉢=大さじ1杯(約10g)	★アミノパワーは育苗期は 使用不可	菊養源6-6-5 乾燥肥料4-8-3  又は  約2週間に1度の間隔 大さじ3~4杯(約50g)	(注1) 管物の場合は 菊養源3-7-6が おすすめ 使用量は厚物の 半分以下 細管はさらに少なく	止め肥 菊養源6-6-5  大さじ3~4杯 (約50g)	★木づくりが不十分で 追い込みたい場合 アミノパワー  5~6日間で2~3回 大さじ1~2杯(約15~20g) 表土に散布
液体肥料	★さし芽=発根が始まったら1000倍で灌水 みらい  生育全期間で使えます 灌水=500~1000倍希釈 葉面散布=1000倍希釈	アミノPK 花有機  又は  ※9月~10月の 追い込みから 開花期に使用 しても良い ※葉面散布不可	アミノ液肥555 育生有機  又は  ※葉面散布不可	(注2) 管物には アミノPK 花有機が おすすめ	追い込み肥 アミノPK みらい  又は  間隔は適宜 灌水=500~1000倍希釈 葉面散布=1000倍希釈(農薬混合可)	花肥 みらい  開花時 間隔は適宜 灌水=1000~2000倍希釈	
活剤	土に活(つちにかつ) ★肥料との混合使用できます (灌水) ★元気に専科と混合使用 できます(灌水) ★透水源との併用は より効果的です	★小鉢から定植・開花まで全期間に使用します 土に活 混合使用可(灌水) 元気に専科  土を元気にし根の 働きを活発に体質 強化と生育促進 肥料や水の吸収を 良くする 約10日間隔 灌水=500~1000倍希釈 ※葉面散布不可	元気に専科  葉色素を増し光合 成を高め生育促進 病気や害虫の被害 を少なくする 約10日間隔 灌水=500~1000倍希釈 葉面散布=1000倍希釈	元気に専科 ★透水源と混合すると より効果的です ★肥料との混合使用できます ※灌水か葉面散布かは 肥料の指定に合わせる	★生育全期間に使用します。 鉄力アクア  葉緑素を増し 光合成を高め 生育促進 「元気に専科」に 準じた使い方も できます 灌水=1000倍希釈		
肥料調整剤		エストール  肥料の与え過ぎや根 の活力低下などで 培養土にたまった 肥料の除去 まわしかけ= 500倍希釈を2~3L その後= 水5~10L 掛け流す	ピーケー・マグ (PK+M)  葉色が濃くなった たれ気味になって来た 等の症状が現れた時 大さじ1杯(10~15g) 表土に散布	ピーケー・マグ (PK+M)  開花期に入る前に余 分なチッ素分を消化 させる 大さじ1杯 (10~15g) 表土に散布			
その他	透水源  ★サンシ穂の水上げ 2000~3000倍 (1時間~2時間)	★水掛け時3000~5000倍 ★液肥に混合3000~5000倍				こくなある  ※9月中旬~10月中旬に 1000倍で 4~5回灌水	